



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主要要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
6/14 (月)	▲ 100	+ 4,000	+ 3,900	源泉税揚げ 国庫短期証券 発行償還(3M)	補充供給 CP等買入 + 500 ▲ 300		欧: 英中銀総裁の講演
6/15 (火)	トン	+ 78,000	+ 78,000	年金定時払い 国債発行償還 (個人向け)			米: FOMC (16日まで) PPI (5月)
6/16 (水)	トン	▲ 18,000	▲ 18,000	国庫短期証券 発行償還(6M)			日: 貿易収支 (5月) 米: FOMC声明発表、FRB議長記者会見 欧: 英CPI (5月)
6/17 (木)	▲ 2,000	▲ 1,000	▲ 3,000				日: 日銀金融政策決定会合 (18日まで) 欧: ユーロ圏CPI (5月)
6/18 (金)	▲ 1,000	+ 15,000	+ 14,000		貸出増加支援 ▲ 26,200		日: 日銀金融政策決定会合後、黒田総裁会見 全国CPI (5月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初518兆2,600億円から始まった。その後は8日に518兆9,700億円、9日には国庫短期証券の買入オペ等で519兆2,400億円、10日には国債買入オペにより、520兆1,100億円まで増加した。週末の11日は、519兆7,800億円まで減少し、越週した。

無担保コールON物加重平均金利は、週初、△0.032%から始まった。8日～10日は、5月積み期終盤のマクロ加算残高の調整需要から、ビッドサイドの一部が調達に積極的な姿勢を見せ、△0.029%～△0.022%と緩やかな上昇基調で推移した。11日は、週末三日積みの要因から、△0.016%まで上昇し、越週した。

ターム物は、月内エンドの1W～2W物を中心に、主に△0.010%～△0.005%の水準で出合いが見られた。

来週の主な予定は、国内で16日に貿易収支 (5月) の公表、18日に日銀政策決定会合や全国CPI (5月) の公表があり、海外では、15・16日に米FOMCなどが予定されている。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.080 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.050
2M	△0.010 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

<レポ>

足許GC取引は週初△0.07%近辺の出合いから始まった。8日に短国買入オペが1.5兆円オファーされたが、水準に変化は見られず△0.075%～△0.065%で取引された。短国3Mの入札日である11日の取引では、△0.07%近辺の出合いが中心となった。SC取引では2年409～425回債、5年136～147回債、10年331～362回債、20年164～176回債、30年59～70回債、40年9～13回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.00
CP 3M	△0.070 ~ 0.00

<C P>

今週の入札発行総額は約4,500億円で、週間償還額 (約6,300億円) を下回った。入札発行市場は、鉄鋼や石油等一部の業態で大型の発行が見られたものの、週を通して案件は少なく、閑散としたマーケットであった。発行残高は先週末の24兆6,307億円から、10日時点で24兆7,534億円に増加した。発行レートは、△0.07%台～0%近辺での出合いであった。

来週の週間償還額は、約4,500億円程度となっている。発行市場は、5・10日発行が見込まれるものの、大型の償還案件もあり、償還と同額程度の発行を見込む。一方で、良好なCP発行環境の継続等を背景に、5月から6月上旬にかけてC P発行枠の拡大を行った先も複数見られており、こうした企業の発行動向も注目される。一般事業法人の発行動向は、四半期末決算の調整を見据え、6月期内物が中心となると予想される。発行レートは、先週同様ワイドレンジでの出合いが想定される。投資家の6月末越えのC P確保ニーズやコロナオペ担保目的等のCP引受需要は高く、オペ対象となる希少銘柄や月越えの発行等に対しては深いマイナス金利での出合いが予想される。14日に、C P等買入れオペが5,000億円程度オファーされる予定。

<TDB>

6月9日の6M999回債(2021年12月10日償還)の入札は、最高落札利回り△0.0996%(前回債△0.1070%)、平均落札利回り△0.1016%(同△0.1090%)となり、6月11日入札の3M1000回債(9月13日償還)の入札は、最高落札利回り△0.0982%(前回債△0.1062%)、平均落札利回り△0.1022%(同△0.1122%)となった。